

# 社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク 2015 年度 事業計画書

## <実施期間>

2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日

## <2015 年度の方針>

(1) NPO/NGO が自ら取り組む社会的責任（以下、SR）の普及  
NPO/NGO が自らの組織で取り組む SR を推進するため、具体的な取り組みを紹介し共有する機会を広げる。

(2) 他セクターとの協働による SR の普及  
さまざまなセクターと連携して SR への取り組みを促進するべく、NN ネットは NPO/NGO の取り組みの成果を他セクターと共有し、また他セクターの取り組みからも学ぶとともに、他セクターの SR への取り組みを促す NPO/NGO を育成・サポートする。

(3) 社会的影響力のある課題に対するアドボカシー（政策提言）の強化  
2020 年の東京オリンピック・パラリンピックなどの社会的影響力の大きなイベントで社会的責任が果たされることの重要性、具体策を提言していくとともに、地球環境問題、貧困問題などの国際的な課題へのアプローチの過程で SR への配慮がなされること、またその担い手自身が社会的責任を果たしていくことの必要性を訴える。

(4) マルチステークホルダープロセスの推進  
あらゆる政策決定、特に地域課題に対するアプローチで、マルチステークホルダープロセスが導入され、課題を取り巻くさまざまなステークホルダーが相互に力を出し合い、課題解決に導けるよう、マルチステークホルダープロセス手法の確立、普及に努める。

## <2015 年度の事業計画>

### 1. 啓発事業

#### [主旨]

日本における「SR のあるべき姿」の具体化へ向けて、引き続き ISO26000 の普及活動や SR 円卓会議での動きの報告・共有を行うとともに、特に、マルチステークホルダープロセス（以下、MSP）等の手法も活用しながら、国内における NPO/NGO の SR の取り組みを広げることには主眼を置き、より地域に密着した SR の実践事例紹介や、自団体での取り組みを促すための発信・学習機会づくりを提供していく。政策提言事業や各会員団体の事業等とも連携しつつ効果的な啓発活動を行う。SR や MSP の概念の共有をめざし、社会の動向を踏まえた取り組みを行う。

#### [事業内容]

##### (1) 本ネットワークの政策提言につながる事業の共有、情報提供

- ・従来通り、ISO26000 の普及活動や円卓会議での動きの報告・共有を行いつつ、今年度も引き続き地域での MSP の活用や SR の実践事例をグッドプラクティスとして積極的に集め紹介

するとともに、自団体、あるいは地域での SR の取り組みを促す機会を啓発事業として提供していく。

- ・ SR フォーラム 2015 の開催：2015 年 5 月 27 日（水）東京にて開催。総会の開催と合わせた事業とし、広く会員や他セクターも含めた議論の場を設定する。
- ・ 発信の場づくり：5 月の SR フォーラム 2015 の成果をふまえ、2015 年 11 月の ISO26000 発行記念月間に関係する事例を発信できる機会をつくる。

## （2）SR 推進のためのコンテンツ・パッケージづくり

本ネットワークが有する SR に関するハンドブックやその他啓発事業に活用しうるツール類の編集・開発状況を踏まえ、活用策を検討する。2015 年度は特に NPO/NGO が自組織の SR の実践に取り組むときに参考になるツールについての情報を収集・発信・啓発のための機会をつくる。

## （3）SR セミナーの開催呼びかけ

本ネットワーク内外へのセミナー開催を呼びかけていく。情報発信チームとの連携により、企画協力（SDGs に関わる勉強会など）や講師派遣、出張サポート等の具体的な提案も行う。

## （4）SR の普及・啓発のための活動

SR の普及啓発を目的に、SR 川柳の募集と表彰を実施する。2013 年度より隔年で「SR 川柳大賞」を開催する。

## 2. 情報発信・広報事業

### [主旨]

NPO/NGO の SR への関心を高め、行動を促していくことは、NPO/NGO が社会的な信頼を獲得し、他セクターと協働して社会的課題を解決していくために必須である。そのために、本ネットワークは SR の意識向上および NPO/NGO 間の取り組みの共有や連携、議論のプラットフォームづくりを目的に、情報を発信していく。

### [事業内容]

#### （1）NN ネットの活動の案内および報告

ウェブサイト、メーリングリスト、Facebook、Twitter などを通じ、「啓発事業」や「政策提言事業」に関する活動案内・報告を発信する。主催イベントについてはプレスリリースの発行を定期的に行い、メディアとの連携をはかる。

#### （2）ブックレットを活用した啓発活動

主催・共催・後援イベント会場で、ブックレット『策定に関わった NPO が読み解く ISO26000』『これからの SR—社会的責任から社会的信頼へ』を頒布する。また、ウェブサイトや SNS などにて継続してブックレットを紹介し、各団体での研修や勉強会での活用を促していく。

### **(3) SRに関する情報の発信**

NN ネットウェブサイトや Facebook を通じて、SR に関する情報の発信をさらに充実する。特に、SR に関する情報・意見を会員団体にも呼びかけて発信する「NN ネットコラム」や SR に関する他団体の情報や活用ツールの紹介をする「資料室」の充実を図る。

## **3. 政策提言事業**

### **[主旨]**

社会的責任に関わる国際規格 ISO26000 発行および JIS 化を受けて国内の普及、啓発に関すること、策定中の持続可能な調達に関する国際規格 ISO/PC277 (ISO20400)に関すること、日本国内の動きとして 2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに関すること、「社会的責任に関する円卓会議」などについて事業を推進する。関連する会議に、本ネットワークの代表協議者を派遣し、勉強会を開催するなどその内容を広く本ネットワーク会員をはじめとする NPO/NGO 関係者と共有する。

### **[事業内容]**

#### **(1) ISO26000 発行後の情報共有など**

2016 年に見直しが予定されている ISO26000 に関し、2013 年度に再結成された「ISO/SR 幹事会」の NGO 委員に NN ネット代表協議者（黒田、堀江）が参加し、ISO26000 の活用方法や、普及に関して他のステークホルダーの委員らと情報共有や意見交換を行う。同幹事会では、現在策定中の調達に関する国際規格 ISO/PC277 についても取り扱われる。

また、黒田は ISO26000 の発行後の組織（PPO: Post Publication Organization）の NGO ステークホルダーグループのメンバー代理を務める。

#### **(2) ISO26000 をはじめとする SR の普及をめざし、イベント、セミナーを開催する**

啓発チームと連携して ISO26000 をはじめとする SR 普及のためのイベント、セミナーを開催する（2015 年 5 月および 11 月を予定）。これらのイベントには NPO/NGO 関係者だけでなく、ISO26000 の元起草委員や、企業、自治体からも参加してもらうなど、他セクターからの協力も仰ぐ。

#### **(3) 国際会議への参加**

2015 年秋に開催が予定されている ISO26000 の PPO 会議（スウェーデン、ストックホルム）および国際フォーラムに代表協議者を派遣する。

#### **(4) ISO/PC277 の策定過程への関与**

持続可能な調達に関する国際規格 ISO/PC277 の策定にあたり、コメント検討会の開催などを通じて NPO/NGO の声を集め、「ISO/SR 幹事会」での議論に反映させる。

#### **(5) 東京オリンピック・パラリンピックに関する勉強会の開催**

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを社会的責任のあるものにしていくため、またSRやサステナビリティを社会に浸透させる機会にするために、NPO/NGO関係者や企業セクターなどと勉強会を開催する。

#### **(6) 社会的責任に関する円卓会議（以下、SR円卓会議）への参画と推進**

SR円卓会議に本ネットワークの代表協議者が委員として参加すると同時に、NPO/NGOステークホルダー間で意見交換を行い、積極的な提案につなげる。2011年に策定した協働戦略に基づく、ワーキンググループの活動の共有、および地域円卓会議フォーラムの開催などを通じて、SR円卓会議の活発化、成果の有効活用を促す。

## 2015年度組織運営（事務局業務）計画

### <実施期間>

2015年4月1日～2016年3月31日

### <業務計画>

#### 1. 会議等の業務

##### (1) 第8回 通常総会の開催

- 日 時：2015年5月27日（水）17：00～18：00  
会 場：3 x 3 labo（さんさんらぼ）（東京都千代田区）  
議 題：  
・2014年度事業報告・決算の承認  
・2015年度事業計画・予算の承認  
・NNネットからの代表協議者の選出について  
・その他

##### (2) 幹事会の開催

- |          |                |              |
|----------|----------------|--------------|
| ・第81回幹事会 | 2015年4月14日（火）  | 場所：日本NPOセンター |
| ・第82回幹事会 | 2015年5月19日（火）  | 場所：日本NPOセンター |
| ・第83回幹事会 | 2015年6月16日（火）  | 場所：日本NPOセンター |
| ・第84回幹事会 | 2015年7月21日（火）  | 場所：日本NPOセンター |
| ・第85回幹事会 | 2015年8月18日（火）  | 場所：日本NPOセンター |
| ・第86回幹事会 | 2015年9月15日（火）  | 場所：日本NPOセンター |
| ・第87回幹事会 | 2015年10月20日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第88回幹事会 | 2015年11月17日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第89回幹事会 | 2015年12月15日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第90回幹事会 | 2016年1月19日（火）  | 場所：日本NPOセンター |
| ・第91回幹事会 | 2016年2月16日（火）  | 場所：日本NPOセンター |
| ・第92回幹事会 | 2016年3月15日（火）  | 場所：日本NPOセンター |

#### 2. 会員に対する業務

##### (1) 会員へのフォローアップ

- ・会員の入会、継続、休会等に伴う業務を行う。
- ・会員メーリングリストの運営と管理を行う。

- ・会員に対して、幹事会終了後、幹事会議事概要および次回幹事会日程を会員メーリングリストに配信する。

(2) 会員データベース管理

- ・会員情報の整理と管理を行う。

### **3. 経理等の業務**

(1) 日常的な会計

- ・円滑な業務執行を行うために、現金等の動きについて記録し、資金の動きを明確にする。

(2) 資金管理と検査

- ・現預金などの日常の管理状況を検査する業務を行う。
- ・より本ネットワークの資金状況を把握するために、引き続き決算を活動計算書で報告する。

### **4. 総務関連の業務**

(1) ウェブサイト管理・運営に関する業務

- ・ウェブサイトの管理・運営を行う。

(2) 什器備品等の管理

- ・什器備品の発注や管理等についての業務を行う。

### **5. その他**

- ・日本 NPO センターが事務局を担う。